



# 自衛官の出身地

(2020年)  
朝雲新聞社「防衛ハンドブック2021」など  
※2020年10月31日現在の自衛官の本籍地を出身地とした。緑色の部分は、おもなアメリカ軍の施設。



ほっかいどう

**1位 北海道**

**3万593人** ↓

出身者が3万人をこえるのは北海道のみ。前年より202人へった。

ふくおか

**2位 福岡県**

**1万2008人** ↑

■自衛官数

- …1万人以上
- …5000~9999人
- …2000~4999人
- …2000人未満

※都道府県名の前にある丸数字は順位。※↑は前年より増、↓は前年より減、→は前年と同。



佐世保海軍施設 (長崎県)

岩国飛行場 (山口県)

横田飛行場 (東京都)

横須賀海軍施設 (神奈川県)

厚木海軍飛行場 (神奈川県)

嘉手納飛行場 (沖縄県)

普天間飛行場 (沖縄県)